

資料1-①

経年劣化 + 管内錆び瘤等成長 + 共用閉塞発生迄の相関イメージ

閉塞リスク
“汚れレベル”

大

仮に、竣工後一度も排水管清掃（高圧洗浄）しなかった場合の経年堆積量の類推

1 a. オーバーラップ工法△通常版

（※部屋内から入る“細いホース”にて洗浄。
* 2 共用工法 + * 1 オーバーラップ工法の併用。）で清掃し続けた場合の共用管内“経年堆積量”の類推。

1 b. オーバーラップ工法○改良版

（圧力損失を減らした効率改良版。※部屋内から入る“細いホース”にて洗浄。* 2 共用工法 + * 1 オーバーラップ工法の併用。）で清掃し続けた場合の共用管内“経年堆積量”の類推。

共用閉塞 事故発生レベル(しきい値)

2. 工法◎特別清掃

（圧力・水量共に最も効率的。
※共用管に直接入れる“太いホース”にて洗浄。）
で清掃し続けた場合の共用管内“経年堆積量”の類推。
※ 実際に特別清掃実施物件で共用閉塞未発生の実績より。

* 全ての共用管に対する掃除口設置をはじめ「特別清掃を可能」にした上で「開始・継続」した場合の堆積推移

竣工時

築年数

